

月次報告書

(令和4年4月度)

1. 所感 「四月の気層」

先日、深海探査の記録映像をテレビで見ました。六千メートル以上の暗闇の深海にも生物が存在することに驚き、エビに似た甲殻類と思われる小さな生きものが海中を漂う姿に感動しました。潮の流れもほとんどない深海の生命はこの地上のせわしない世界を遥かに深く超えた時を生きているように思えました。かつて人は海を見て水平な彼方に神さまや仏さまの世界を。そして垂直に下降する海の底には怪しく恐ろしい世界を想像しました。しかし、実際の深海は静謐な神秘の世界です。

深い海ではなく、私たちの立つ大地を垂直に下降して、日常を超えゆく世界を求めた有名な宮沢賢治がいます。宮沢賢治は地質学の知識と詩情あふれる想像力で地層の中に生命の息吹く歴史を見ようとしました。詩集「春と修羅」では、「新生代沖積世」を生きる人類が遠い未来には大気圏の上層の水窒素の中から化石を発見するかもしれないと夢想します。そして地層を眺める宮沢賢治の眼差しは大空の気層へと転換していきます。大空の彼方から四月の輝く気層の底を這いつくばる自分を見つめ、宮沢賢治は悲しみをもって「唾し はぎしり ゆききする おれはひとりの修羅なのだ」と自画像を描いています。

修羅とは阿修羅のことで、ある宗教では怒りや憎しみといった煩悩を象徴します。故郷の花巻で農地改良などを指導し、農民とともに生きる宮沢賢治の内面にこの阿修羅が棲んでいたのでしょうか。その心を見つめると悲しくなり“風景は涙で揺すれます。”そして見上げる天上は神々しく美しく、吹く風はどこまでもすがすがしいのです。この天上を見上げつつ地上の苦しみを生き抜くことが宮沢賢治には宿命づけられていたのでしょうか。宮沢賢治は次のように語ります。

「まことのことばはうしなはれ 雲はちぎれてそらをとぶ ああかがやきの
四月の底を はぎしり燃えてゆききする おれはひとりの修羅なのだ」

日差しも花も心を浮き立たせる春を迎えましたが、日々の生活には修羅のように呻吟する辛さもあります。しかし四月の気層には神々しい生命の息吹に満ちた自然からの宝物の世界が輝きます。気の重いニュースが流れる気層の底にも四月の輝きは救いとなります。

2. 行事等(令和4年3月)

開催日	行事名
4日(金)	事業推進検討委員会
16日(水)	第10回理事会
23日(水)	安全巡回指導/3月度安全・適正就業委員会
31日(木)	正副理事長会議/理事選考委員会

3. 業務遂行上の留意点 <<新型コロナウイルス感染状況>>

<p>●全国の会員感染者累計 2,044名/約700,000名 ※うち就業先からの感染 4% 約80名 期間;令和2年3月~令和4年3月30日 死亡者数27名</p>

4. 事業実績

		令和4年3月	前年同月	累計進捗	前年同月累計進捗
登録会員数(人)		334	342		
受託件数 (件)	請負	136	141	2,451	2,243
	派遣	8	6	92	89
契約金額 (円)	請負	6,590,043	8,097,175	109,203,677	117,650,469
	派遣	1,256,079	1,135,754	15,022,729	14,419,208
就業実人数 (人)	請負	173	182	237	254
	派遣	19	18	40	36
就業延人数 (人)	請負	1,694	2,277	25,549	27,674
	派遣	231	193	2,832	2,519

5. 会員の入退会(令和4年3月1日~31日)

新入会員		
会員№	氏名	所属地域班
2105	江原 正典	西部 持田南部班
2106	永沼 よし子	北部 北河原・須加

退会会員		
会員№	氏名	所属地域班
1571	茂呂 好和	西部 持田南部班
1603	安川 隆造	西部 持田西部班
1683	田口 昭雄	北部 荒木班
1710	小林 昭治	北部 星河北部班
1796	今村 照子	北部 南河原班
1801	漆原 清枝	南部 駒形・忍班
1831	金井 喜和	西部 太井南部班
1861	強矢 英一	西部 持田西部班
2061	小林 聖司	北部 荒木班

入会時オリエンテーションのお知らせ

入会されました会員を対象に、入会説明会で説明出来なかったセンター事業や就業に関する詳細について説明会を行うものです。また、簡易的な面談やこれからの就業に係る説明を行いますのでご参加ください。

日時: 4月28日(木) 13時30分~

場所: センター 講習室

6. 職員の紹介

事務局長 室久 一英
 事務局長次長 小倉 光久
 主査 野村 千寿子
 嘱託 斎藤 諒太

本年度もよろしく申し上げます。

4月1日付けをもちまして、事務局長次長を命じられました小倉光久です。責任の重さを感じております。引き続きご指導賜りますようお願いいたします。

